

事業再評価調書（簡略）

1 事業種別 事業名[再評価理由]	街路事業 淀川北岸線（菅原） 整備事業	[再評価後 5年経過（2回目）]
2 担当	建設局道路部街路課（連絡先：6615-6753）	
3 事業内容	街路整備（新設） 延長L=1,190m、幅員W=22m（両側4車線、歩道あり）	
4 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・本路線は、本市北部の淀川北岸を東西に貫く幹線道路である。 ・本事業区間には淀川右岸の既存道路があり、摂津市、近畿自動車道摂津南IC付近への抜け道として通過する交通量が多い。また、当該区間の周辺では淡路駅周辺地区土地区画整理事業や、阪急京都線・千里線連続立体交差事業及び都市計画道路事業などの都市基盤整備が実施されている。 ・本事業区間の整備より、本市北東部における機能的・効率的な幹線道路ネットワークを形成し、自動車交通流の円滑化や歩行者空間の整備による安全性などの向上を図る。 	
5 事業の概況 ※[]内は前回評価時のもの	事業開始 H13 事業完了 H32[H32] 総事業費 147[147]億円 既投資額 35[28]億円 ○変更点 なし	進捗率 事業費ベース 24.1% 工事進捗率(面積ベース) 0.4%[0.0%] 用地取得率(面積ベース) 55.8%[40.6%]
6 前回再評価からの実施状況	目標年度までに完了できるよう用地取得を精力的に進めてきた。さらに、おおさか東線交差部アンダーパス工事に着手し現在も実施中である。	
所管局の考え方		
7 視点 毎の 評価 (変更等の有無)	事業の必要性 A～C	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、周辺部における都市基盤整備の進捗に伴い、市北東部における幹線道路ネットワークの形成がますます必要になっている。また、当該事業区間にある既存道路が抜け道として多くの通過交通を有しており、渋滞の発生や西側区間の西行一方通行部分における周辺住宅地内での迂回車両の増加など、その解消に向けアクセス性の向上や歩道整備による歩行者等の安全・安心な通行空間の確保など事業実施の必要性は高い。
	事業の実現見通し B	<ul style="list-style-type: none"> ・前回同様、平成32年度に全線事業完了をめざすこととし、まずは事業区間西側の対面通行化に向けて、おおさか東線事業とも連携を図り、段階的な整備に取り組むとともに、事業地の確保においては、大規模施設の用地取得に目途が立つなど進捗しており、年次計画どおりの予算が確保出来ることで、完了予定年度での完成が見込める。
	事業の優先度 B	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、用地取得率が高く、整備効果が早期に発現できる路線を「重点整備路線」、地震時における重点密集市街地の被害を軽減するための防災環境軸の核となる路線を「完了期間宣言防災路線」として位置付け、完了時期を宣言し、重点的に財源を投入している。 ・本事業は、重点整備路線等には位置付けられていないものの、別途、平成30年度の開業に向け事業を進めているJRおおさか東線と立体交差するなど関連性が高いことから、前回と同様に着実に事業を進めていく。
8 対応方針（案）	事業継続（B）	
（理由）	<ul style="list-style-type: none"> ・本路線の整備は、市北東部における機能的・効率的な幹線道路ネットワークを形成し、アクセス性の向上と歩行者等の安全・安心な通行空間を確保するため必要な事業である。また、本事業区間西側の西行き一方通行の対面通行化など段階的な整備による事業効果の早期発現もめざし、用地取得を進めるとともに、関連するおおさか東線の事業とも連携し、年次計画どおりに予算が確保出来ることで、完了予定年度での完成が見込めることから「事業継続（B）」とする。 	
9 今後の取組方針（案）	今後も予算の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予定年度の完成に向けて取組む。	

東淀川区東淡路1丁目～菅原2丁目

凡例

- ■ ■ ■ ■ ■ 当該路線
- ==== 事業中区間
- 完成区間
- ==== 未整備区間
- ==== 未拡幅区間

対象事業 位置図



淀川北岸線
(菅原)

L=1190m
W= 22m

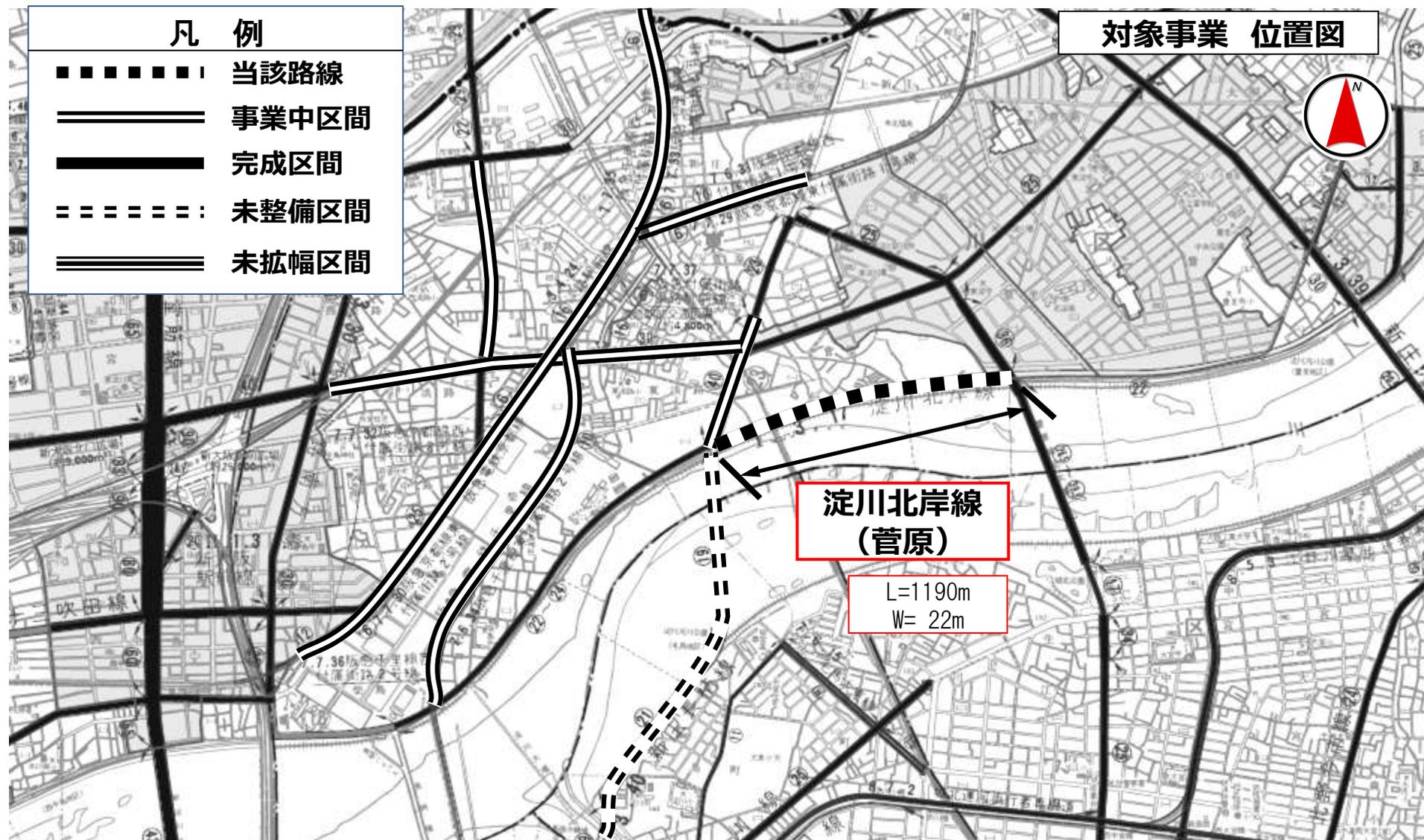


図2 進捗状況

(4 事業の実現見通しの視点 ③事業規模)

残事業の内容

●用地取得 24件 (9,227㎡) ●道路工事(延長1,190m、面積26,180㎡) ●残事業費 約112億円



事業中区分 L=1,190m W= 22m



計画断面図



凡 例	
	用地取得済箇所
	整備済箇所
	残用地取得物件
	施工中箇所

用地取得率: 55.8% (面積ベース)
工事進捗率: 0.4% (面積ベース)

事業費ベース進捗率: 24.1%

図3 進捗率の推移

(4 事業の実現見通しの視点 ③総事業費)

(単位：%)

